

原町一丁目・洗足一丁目地区
46沿道まちづくり協議会会長 林 尚美

46沿道まちづくり提案（原町一丁目・洗足一丁目地区）の 提出にあたっての連名協力について（依頼）

1. これまでの経緯

「原町一丁目・洗足一丁目地区46沿道まちづくり協議会（以下「46協議会」という）」は、補助第46号線の整備にあわせて、地元住民と目黒区等が協力して地域にふさわしい沿道まちづくりを推進することを目的として、平成25年8月8日に発足しました。協議会は、原町一丁目・洗足一丁目地区の関係町会長、関係町会の推薦者、居住者、関係権利者で構成されています。

現在、補助第46号線の拡幅が進められ、不燃化建替えに対する支援制度の導入等により建物の不燃化が進んでおり、地域の防災機能は徐々に向上しています。

一方、道路拡幅が進むことにより“地域が分断されてしまう”という懸念が広がっています。

このような今後抱えるであろう地域の課題を解決していくために、46協議会では、将来的に理想となる補助第46号線をイメージしながら検討を重ね、その成果を別紙資料1のとおり『46沿道まちづくり提案～「まちを分断する道路」から「まちをつなぐ道路」へ～（案）』としてまとめました。現在、地域の方々から提案（案）の内容を確認してもらっている段階です。確認が終了次第、提案書の内容を確定し、東京都及び目黒区に提出する予定です。

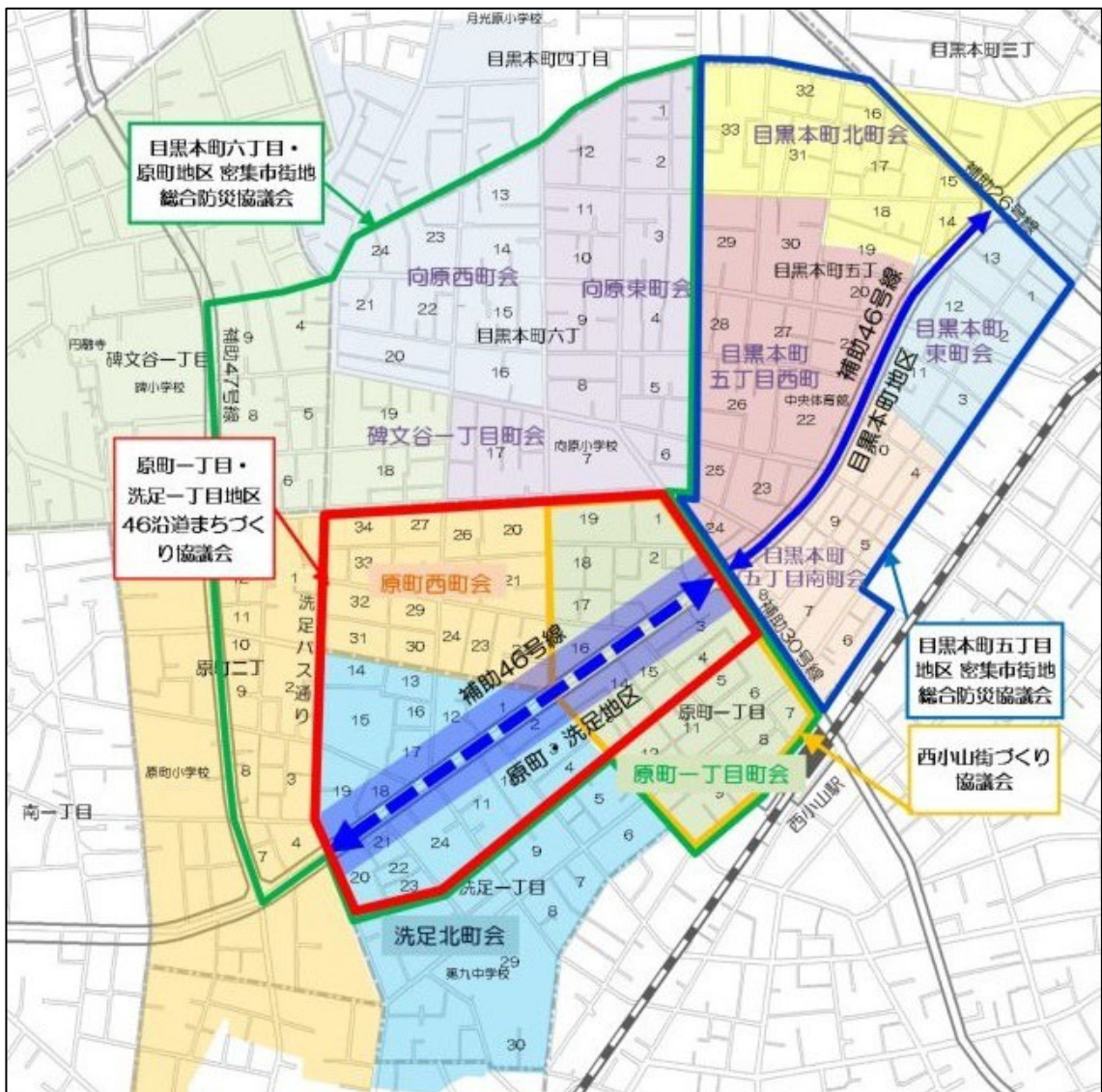
2. 連携の目的

補助第46号線は、複数の町会をまたがる形で整備されるとともに、現在発足されている様々な協議会が所掌する検討区域（裏面参照）を横断しています。

これらの組織と今回のまちづくり提案の内容を共有し、連携できる方策を検討していくことで、提案の実現度を高めていくことができます。

3. 連名協力についてのご依頼

今後の連携に向けた第一歩として、46協議会が「46沿道まちづくり提案」を東京都や目黒区に提出する際、同じ地域で活動する洗足北町会においても、この提案の実現に向けた検討を進めてほしい旨を一緒になって伝えていただきたく、提案書に添付する依頼文（別紙資料2参照）に、連名の協力をお願い申し上げます。



- 46 沿道まちづくり検討区域 (約 16ha)
- 不燃化促進事業区域 (原町一丁目・洗足一丁目地区、約 3.3ha)
- 都市計画道路補助第 46 号線 (幅員 20m、延長約 550m)

図 各協議会・町会の検討区域図